

今日と明日のセンター試験、アメリカ海軍の空母視察で思うこと

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日1月16日の土曜日は、大学センター試験が行われています。皆さんもご承知でしょうが、今回の大学センター試験には、高校3年生を中心に53万人の方が出願しています。大学センター試験は、大学に進学を希望する方が受ける試験で、本当に多くの方が利用して大学に入学しています。この試験には出願期間があり、今回は9月29日から10月9日まででした。そして、今日と明日、1月16日と17日に本試験があります。病気などいろいろなことで試験が受けられなかった人のためには追試験があり、それが1月23日と24日に予定されています。よほどの理由がなければ駄目ですが、ちゃんとした理由がある場合に追試験が用意されているのは、非常に公平な試験だと思います。この試験を、今回は53万人の方が受験なさいます。
3. ただ、これまでの形での試験は、2020年からガラッと変わるということで、今、相当の準備が行われています。例えば、英語の試験はどのように変わるかお話します。現行の試験は、読み方の読解力の試験と、聞く試験のリスニングしかありません。今から4年後の2020年からは、英語を書く試験と英語を話す試験も、大学センター試験と大学入試に大幅に導入される予定です。そのため、どのように入れるのかについて、大議論がなされています。これでよいとか、このようにちょっと変えたほうがよいとか相当議論がされていますので、ぜひ関心を持っていただければと思います。
4. 特に、今の中学2年生の方が大学を受ける頃からガラッと変わります。中学2年生は1年後には高校入試がありますが、これから4年間かけて大学入試の仕組みが整いますので、それに備えていただきたいと思います。また、中学1年生・小学生は、新しい形での大学入試を受けることになります。ですから、小学生や中学生のお子様をお持ちの保護者の方は、新聞等をよく読んで、今から4年後の2020年に向けて、どんな大学入試改革が行われようとしているのかをご理解いただければと思います。
5. また、登録をすると、文部科学省から毎日のようにメールマガジンが届きます。そこに、いろいろな委員会の議論の詳細、審議会の議事録まで載っていますので、関心のある方は文部科学省のホームページにメールマガジンの登録をしていただき、情報収集をお願い致します。
6. これからは、社会に出てから役に立つことを念頭に置いた勉強になると思います。ですから、今までのように重箱の隅をつつくような問題は、大学入試にはあまり出なくなると思います。大

学センター試験では出ませんが、各大学の二次試験など独自の試験では時々そのような問題も出ることがあるかもしれません。しかし、随分少なくなるのではないかと思います。

また、新テストという試験を高校3年生のときに何回か受け、その結果を大学に提出することもできるということが議論されています。かなり研究されていますので、ぜひ文部科学省のホームページ等で調べていただければと思います。そういうことですので、ぜひ大学センター試験に興味を持っていただきたいと思います。

7. 明日の各新聞社の朝刊には、今日行った科目の試験問題が公表されます。また、明後日の各新聞社の朝刊には、明日行われる科目の試験問題が公表されます。ぜひご覧になっていただければと思います。そして、今の高校生はこんな試験を受けているんだ・結構よい問題が出ているな・こんな問題だったら素晴らしい勉強ができるなということをご理解いただければと思います。
8. 大学センター試験には、結構本格的な問題が出ます。大学進学を希望している方は読書を毎日したり、新聞を読んだり、普段の勉強をしたりと、いろいろなことをやり、大学入試に備えていただければと思います。
9. ところで、ここからは少し違ってお話をします。東京にある公益社団法人経済同友会には、知日派、つまり日本を知る人や日本に親しんでもらう人を拡充しようという委員会があります。その視察が今週の木曜日の1月14日に横須賀であり、参加させていただきました。アメリカ軍の方々とその関係者の方々が日本にはだいたい10万人いらっしゃいますので、日本を知って理解していただく対象としては大事だということで行って来ました。今、アメリカ海軍のロナルド・レーガンという空母が、横須賀に停泊して修理をしていますので、それを見学させていただきました。
10. その手前で、海上自衛隊の横須賀基地にあるいずもという護衛艦も見学させていただきました。そこで、艦長さんはじめ幕僚の方々と意見交換をしてまいりました。護衛艦いずもには、だいたい400名の方が搭乗しているそうです。いずもは、空母ではありませんが、ヘリコプターを飛ばせる護衛艦です。戦闘機は飛ばないようにになっていますが、自衛艦ですのでヘリコプターを搭載し、艦載機として飛ばせる船です。そこに、400名の乗組員の方がいます。
11. 一方、アメリカ海軍の空母ロナルド・レーガンには、なんと6000名～7000名の方が搭乗できます。そして、オペレーションのときには搭乗して、60機～70機の戦闘機を30秒おきに飛ばす能力があるということです。比較をしてはいけないかもしれませんが、先に自衛艦のほうを見させてもらってよかったなあと思います。そのくらい、装備についても能力についても、相当の差がありました。
12. 司令官の方ともお話しましたが、3.11のときには、トモダチ作戦で空母ロナルド・レーガンに来ていただき、2週間も三陸沖に停泊して多大な協力をしていただきました。そこで我々も感謝の言葉を述べてきた次第です。日本とアメリカが協力し合いながら、人間の安全や国の安全を図っていかねばならないと思います。ぜひ、皆さんも機会があったら、このような見学をしていただきたいと思います。